

ジュリー ポリシー

2024 年 7 月 26 日

1. 事故の無い安全なレースが展開されることを本大会の第一目標とします。
2. 併せて 参加艇、選手の満足する大会になることを心掛けます。
3. プロテスト委員会は、基本的に艇に対しては抗議を行いません。
但し、**RRS 2**（公正な帆走）、**RRS 69**（重大な不正行為）に抵触する可能性の有る場合には、プロテスト委員会は抗議することもあります。
4. 審問に先立ち、**RRS 63.2** に基づき、当事者には審問の準備の為に十分な時間を取ります。それ故に、抗議は出来るだけ早く申告してください。
5. 抗議、救済要求の有効性の判定にあたっては、**RRS**、**SI** も含め、定められた手続きを厳格に適用します。
6. 裁量ペナルティ【**DP**】に付いてはプロテスト委員会が作成した **DP 指標** に基づいて対応します。
7. 審問の再開については、**3** での十分な準備を踏まえ、「新しい証拠」については、合理的な理由が無い限り相当限定的となります。
8. レース運営等でルール上の問題点等がある場合は、その問題をなるべく早く回避、解決できるように、レース委員会等と緊密に連絡を取ることを心掛けます。

プロテスト委員長 榛葉 克也